

2023年度 公立大学法人大阪第9回役員会議事要旨

日 時：2023年12月21日（木）14時00分～14時45分

場 所：I-site なんば2階カンファレンスルームC1

構成員：福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、
中村理事、帯野理事、宮部理事、藤沢理事(オンライン)

陪席者：白井監事、前田監事、市橋事務局長、大久保事務局次長、石井事務局次長、
船野学長室室長、千田総務部長、柴山企画部長、富宅医学部・附属病院事務局長代理兼
事務局事務部長、中井総務課長

【審議事項】

1 大阪公立大学学長選考会議について

担当理事より、大阪公立大学学長選考会議について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・投票は実施しないのか。
- ・投票は実施せず、学長選考会議での書類審査、対面審査により学長候補者を決定する。

2 大阪府市の法人管理部門一元化にかかる業務方法書の改正について

担当理事より、大阪府市の法人管理部門一元化にかかる業務方法書の改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

【報告事項】

1 東北大学との包括連携協定について

理事長および担当理事より、東北大学との包括連携協定について説明がなされた。

<主な意見等>

- ・DX 関連について、東北大学は最も進んでいる大学である。経営戦略から始まり、現在は研究戦略のDXに取り組んでおり、本学とはスピード感が異なる。若手職員が各課を横断してDXに取り組んでおり、DX チームに本学からも15名程度の若手職員が参画しているので、共同して取り組みを進めたいと考えている。
- ・視察時に東北大学からフルメンバーで迎えられたことは、期待の表れではないか。東北大学と学術研究を進めるとともに、この連携を通じて関西の経済界とも連携を深め、大阪の発展により多くの可能性を見出していきたい。また、仙台と大阪というそれぞれの特徴を持つ都市であるので、産業界も含めて前向きに進めていきたい。
- ・東北大学では材料工学をはじめ技術系に素晴らしい実績があるが、近い分野同士だけでなく、文理融合で様々な分野で連携するシステムを作っていただきたい。
- ・材料工学のみならず、人文科学では倫理学、宗教学、哲学、考古学で実績があり、国際日本学研究所がある。また、防災センターでは防災だけでなく、かつてどの程度の災害が発生し、それに対し人々はどのように対応し避難したかの古文書等を含めた総合的な研究も行っている。この連携により、総合的に幅広い縁が繋がることを期待している。

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上